

現代インドネシアの詩と詩人～その1

—A. ムストファ・ビスリ師 (A. Mustofa Bisri: 通称グス・ムス) の詩—

大 形 里 美

インドネシアには豊かな詩の世界がある。詩を書いたり朗読したりする文化は広く庶民の間にも根付いており、学校で詩の朗読コンテストを開催したり、フェイスブック上に自分が作った詩を紹介して評価し合うこともごく一般的なことだ。詩の朗読も、静かに読むスタイルもあれば、身振り手振りを加え、まるで演劇のように熱く読むスタイルもあり、観客を魅了する。

詩は、短い言葉や文章の中に人々の心情を表現するもので、異文化に属する人々の詩を読むことは、異文化理解にも大いに役立つと思われる。だが、残念ながら、こうしたインドネシアの豊かな詩の世界について、これまでも1970年代以降、かなりの数のインドネシアの詩人の作品が日本語に翻訳され紹介されてきたが¹、まだまだ紹介されていない魅力的な作品が数多くある。そこで、ここではこれまで日本で紹介されてこなかった現代インドネシアの著名な詩人たちの作品を翻訳し、シリーズで紹介していきたいと思う。

第1回目は、グス・ムス (Gus Mus)²の愛称で知られるA. ムストファ・ビスリ師 (以下、グス・ムスと呼ぶ) の作品とプロフィールを紹介したい。グス・ムスは、インドネシア最大の伝統派イスラム組織ナフダトゥール・ウラマー (Nahdlatul Ulama = NU、通称エヌ・ウー。以下NUとする。同組織の会員数は2010年で5千万人に及ぶ) の事務部の中央幹部であり、イスラム学者 (ウラマー) としてイスラム学関連の書籍を数多く



ムストファ・ビスリ師の作品1.
タイトル：自画像
写真提供者：ムストファ・ビスリ師。

執筆しているだけでなく、詩や短編小説、絵画の分野でも活躍、また著名コラムニスト、文化人として多くの人々を魅了してやまず、多くのイスラム教徒から敬愛されている。ここでは数あるグス・ムスの作品の中から、『A. ムストファ・ビスリの詩のアルバム (*Album Sajak Sajak A. Mustofa Bisri*)』³に収められている以下の11作品を紹介した後、師の経歴と人物像を紹介しておきたい。

I. A. ムストファ・ビスリ師 (グス・ムス) の詩の紹介

本稿で紹介する11作品のタイトルは、以下の通りである。

1. Cinta Hingga (愛 そして)
2. Gandrung (首ったけ)
3. Hanien (ハニーン)
4. Dalam Kereta (列車の中で)
5. Tak Cukup (まだ足りない)
6. Doa Pecinta 2 (愛する者の祈り2)
7. Sajak Atasnama (名の下にという詩)
8. Allhu Akbar (アッラーフ・アクバル)
9. Aku Masih Sangat Hafal Nyanyian itu (僕はその歌をまだよく覚えている)
10. Selamat Datang di Negeri Bokong (尻の国へようこそ)
11. Kau ini Bagaimana atawa Aku Harus Bagaimana?

(君ってどうなってるんだ あるいは僕はどうすればいいんだい?)

1. Cinta Hingga (愛 そして)⁴

Aku ingin menorekan sejuta kecupan di tubuhmu yang panas hingga menimbulkan demam cinta yang membuatmu menggigil lalu kudekap kau hingga aku pun ikut menggigil dan tubuh kita yang menjadi satu semakin panas hingga akhirnya fana menuju sukma-sukma kita yang lebih dahulu bersenyawa hingga utuhlah cahaya kita. Hingga utuhlah cahaya kita. hingga utuhlah cahaya kita, hingga

僕は百万のキスを熱い君の体に刻み付けたい 君を身震いさせる愛の高熱を生み出すまで そうして僕は君を抱き締める そして僕も一緒に身震いし一つになった僕たちの体はますます熱くなる そしてついにファナー（消滅）⁵が 先にな一つになっていた僕たちの魂へと向かうまで。そして僕たちの光が完全なものとなるまで。僕たちの光が完全なものとなるまで。そして僕たちの光が完全なものとなるまで。そして……。

2. Gandrung (首ったけ)

あー、僕の平安よ、あー、僕の不安よ、	o, damaiku, o, resahku,
あー、僕の本陰よ、あー、僕の灼熱の陽射しよ、	o, teduhku, o, terikku,
あー、僕の焦りよ、あー、僕の穏やかさよ	o, gelisahku, o, tantramku,
あー、僕の慰めよ、あー、僕の心配よ	o, penghiburku, o, cemasuku,
あー、僕の暴政よ、	o, tiraniku,
これまで	selama ini
僕はもう僕の ^{よわい} 齢を使い果たしてしまった	aku telah menghabiskan umurku
一体何のためにか。どこにいたのか	untuk entah apa. Dimanakah
その時君は、あー、恋人よ。	kau ketika itu, o, kekasih?
なぜ君は待っていたんだ？	Mengapa kau tunggu hingga
僕が疲れ	aku lelah
もはやできなくなるまで	tak sanggup lagi
君の扉をこれ以上強く叩くことが	lebih keras mengetuk pintumu
君の大いなる愛を担うことが	menanggung maha cintamu?
本当に君は僕のところにやってきたのか	Benarkah kau datang kepadaku
あー、僕の恋しい人よ	o, rinduku,
本当かい？	benarkah?
1998年	1998

3. Dalam Kereta (列車の中で)

Untuk : NB⁶ (NBのために)

奇妙じゃないだろうか？	Bukankah aneh?
僕が再び思い出したのは列車の中ではなかった	Bukan dalam kereta aku kembali teringat
轟きによるものだろうか？	Apakah karena gemuruh
ここを通り過ぎる	Yang melintas di sini?
僕は再び思い出した	Aku kembali teringat
短い僕たちの旅を	Perjalanan kita yang singkat
短い距離のためじゃない	Bukan karena jarak yang dekat
距離が縮まったからだ	Tapi jarak terlipat
僕たちが愉しく夢中になっていたことで	Oleh keasyikan kita yang nikmat
普通じゃなかった	Tidak seperti biasa
僕たちは本当に子どものようになった	Kita menjadi begitu kanak-kanak
それどころか時に下品にさえなった	Bahkan kadang-kadang norak
繰り返し叫ぶ駅に邪魔されることなく	Tak terganggu stasiun berteriak-teriak
そしてガタゴトという列車の音にも	Dan suara kereta yang berderak-derak
奇妙じゃないだろうか？	Bukankah aneh?
僕たちは喧噪の中で孤独を愉しんでいた	Kita menikmati kesendirian dalam keramaian
駅を一つ一つ通り過ぎていった	Stasiun demi stasiun terlewati
僕たちが気づかないまま	Tanpa kita sadari
僕たちが再び	Sampai kita kembali
また僕たち自身になるまで	Menjadi diri kita lagi
君は今どこにいるんだ、愛する人よ？	Kau di mana sekarang, sayang?
そうしてここには何があるんだろう？	Lalu apa yang ada di sini
このいつまでも轟き続けているものは	Yang terus gemuruh ini?
2000年	2000

4. Hanien (ハニーン)⁷

本当なら今夜は	mestinya malam ini
とても特別になるはずだった	bisa sangat istimewa
これまでの僕の夢の中でのように	seperti dalam mimpi-mimpiku selama ini
恋人よ、僕を迎えにきてくれ	kekasih, jemputlah aku
恋人よ 僕を迎え入れてくれ	kekasih, sambutlah aku
僕は僕の恋しさを話すから	aku akan menceritakan kerinduanku
普通の言葉で	dengan kata-kata biasa
そして君は微笑んで理解してくれるだけで十分だ	dan kau cukup tersenyum memahami
僕の苦しみを	deritaku
そうして僕は疲れた僕の頭を置く	lalu kuletakkan kepalaku yang penat
温かい君の膝元に	di haribaaumu yang hangat
恋人よ、僕のそばにずっといてくれ	kekasih, tetaplah di sisiku
恋人よ、僕の目を見つめてくれ	kekasih, tataplah mataku
でもいつものように	tapi seperti biasa
こんなにたくさん僕が言いたいことがあるのに	sekian banyak yang ingin kukatakan tak
言うことができない	terkatakan
こんなにたくさん僕が訴えたいことがあるのに	sekian banyak yang ingin kuadukan
涙に取って代わられてしまう	diambil alih oleh airmataku
恋人よ、僕の胸の内を聞いてくれ	kekasih, dengarlah dadaku
恋人よ、僕の涙を読みとってくれ	kekasih, bacalah airmataku
今夜はやはりまだ	malam ini belum juga
これまでの	seperti mimpi-mimpiku
僕の夢のようにはならない	selama ini

今夜
ましてや君は静寂を
君の代わりにしたままだ
レンバン⁸、1999年

malam ini
lagi-lagi kau biarkan sepi
mewakilimu.
Rembang, 1999

5. Tak Cukup (まだ足りない)

まだ足りない
思いだして（名前を）呼ぶだけでは
まだ足りない
憧れて望むだけでは
まだ足りない
待って迎えるだけでは
まだ足りない
眺めて見つめるだけでは
まだ足りない
抱き寄せて抱き締めるだけでは
まだ足りない
愛撫してキスするだけでは
まだ足りない
たとえ一つになって解け合ったとしても

tak cukup
mengingat dan menyebut
tak cukup
mendamba dan mengharap
tak cukup
menanti dan menyambut
tak cukup
memandang dan menatap
tak cukup
memeluk dan mendekap
tak cukup
mengelus dan mengecup
tak cukup
bahkan bersatu dan berpadu

まだ足りない

でも
これ以上どうすればいいんだ、愛する人よ
この渴きを満たすには？
2000年。 —

tak cukup

tapi
bagaimana lagi, sayang
memuaskan dahaga ini?
2000. —

6. Doa Pecinta 2 (愛する者の祈り 2)

おー アッラー おー 僕の慈悲深き神よ	Ya Allah ya Tuhanku yang Maha Pengasih
おー アッラー おー 僕の慈愛遍き神よ	Ya Allah ya Tuhanku yang Maha Penyayang
どうやら僕から	Kiranya tak ada permintaan yang
これ以上の願いはないようですー	lebih besar dariku-
そしてあなたからのいかに大きな恩寵も	dan tak ada anugerah sebesar apa pun dariMu
あなたの偉大さを減ずることなどできません	dapat mengurangi kebesaranMu-
: おー 神よ、僕は請い願います	: ya Tuhan, aku memohon cinta dan
愛と慈しみを!	kasih sayang!
あなたが僕に	Segala anugerah duniawi yang
おそらくお与えになるだろう	mungkin akan kau
すべての現世的恩寵は	berikan kepadaku,
溢れさせてください	limpahkanlah saja kepada mereka
現世的な事柄ゆえに	yang marah
怒れる者たちに	karena urusan duniawi
彼らがもう憎しみを	agar mereka tak lagi menebarkan
まき散らさないように	kebencian
あなたが僕に	Segala anugerah ukhrawi yang
おそらくお与えになるだろう	mungkin akan kau
すべての来世的恩寵は	berikan kepadaku,
溢れさせてください	limpahkanlah saja kepada mereka
忍耐強く	yang sabar
来世への道を歩む者たちに	menapak jalan ukhrawi
なぜなら生きている間	karena selama hidup mereka
彼らは愛情を振り撒くからです	menebarkan kasih sayang

僕にとってこれ以上のものはないようです— Bagiku kiranya tak ada yang lebih besar—
そしてあなたからのいかに大きな恩寵も tak ada anugerah sebesar apa pun dariMu
あなたの偉大さを減ずることなどできません— dapat mengurangi kebesaranMu—

：僕にとって、お一神よ、 : bagiku, ya Tuhan, cukuplah cinta
あなたの愛と慈しみは十分です dan kasih sayangMu

お一、何でも授けてくださる神よ Ya, Tuhan yang Maha menganugerahi
あなたからの恩寵より大きなものはありません Tak ada yang lebih besar dari anugerahMu
あなたの恩寵は溢れます AnugerahMu melimpah kepada siapa
誰に対しても saja yang Kau
あなたがお望みになる者に Kehendaki

あなたからの恩寵は AnugerahMu tak melihat siapa yang
あなたが授けられる者が engkau
誰かを選びません anugerahi
なぜならあなたの恩寵がいかに大きくとも Karena sebesar apa pun anugerahMu
あなたの偉大さを少したりとも tak mengurangi sedikit pun
減ずることなどないからです kebesaranMu
僕は相応しくないけれどやはり請い願います : Aku tak pantas tapi tetap memohon :
お一、神よ、僕に授けてください Ya, tuhan, anugerahilh aku
あなたの愛と慈しみを Cinta dan kasih sayangMu.

お一 神よ、 Ya Tuhan,
あなたは僕の願いをあなたの寛さゆえに叶えてくださる Kau kabulkan karena kemurahanMu
あるいはあなたは僕が相応しくないがゆえに Atau Kau tolak permohonanku karena
僕の願いを拒否される Ketidakpantasanku
どうかあなたが叶えてくださいますように— Semoga Kau kabulkan —
僕は変わらずあなたの扉の前で正座しています aku tetap bersimpuh di depan pintuMu
他にどこに行くところがあるでしょう？ Kemana lagi?

アーミン⁹ (どうか叶えてください)

2000年 8月15日

Amin.

15 Agustus 2000

7. Sajak Atasama (名の下にという詩)

神の名の下に神を冒瀆する者がいる
国の名の下に国を略奪する者がいる
国民の名の下に国民を抑圧する者がいる

人道主義の名の下に
人間を餌食にする者がいる

正義の名の下に
正義を崩壊させる者がいる

統一の名の下に
統一を壊す者がいる

平和の名の下に
平安をかき乱す者がいる

独立の名の下に
独立を束縛する者がいる

だから何のまた誰の名の下にであれ
おまえ達の呪いを送りなさい
あるいは我¹⁰の名の下に彼らと闘うのだ

愛情をもって
レンバン、1997年 8月

Ada yang atasnama Tuhan melecehkan Tuhan

Ada yang atasnama negara merampok negara

Ada yang atasnama rakyat menindas rakyat

Ada yang atasnama kemanusiaan
memangsa manusia

Ada yang atasnama keadilan
meruntuhkan keadilan

Ada yang atasnama persatuan merusak
persatuan

Ada yang atasnama perdamaian
mengusik kedamaian

Ada yang atasnama kemerdekaan
memasung kemerdekaan

Maka atasnama apa saja dan siapa saja
kirimlah laknat kalian

Atau atasnamaKu perangilah mereka
dengan kasihsayang!

Rembang, Agustus 1997.

8. Allahu Akbar (アッラーフ・アクバル；アッラーは偉大なり) ¹¹

アッラーフ・アクバル！ お前たちの叫び声が稲妻のように轟き渡る 小さな生き物たちを震え上がらせる アッラーフ・アクバル！	Allahu Akbar! Pekik kalian menghalilintar Membuat makhluk-makhluk kecil tergetar! Allahu Akbar!
アッラーフ・アクバル！ アッラーは偉大なり！ お前たちの首の筋は浮き上がり アッラーフ・アクバルと叫ぶ そしてジハードの気迫をもって お前たちの憎しみの欲望は焼き尽くす お前たちが神に背くと考えるものを何であれ	Allahu Akbar! Allah Maha Besar! Urat-urat leher kalian membesar meneriakkan Allahu Akbar Dan dengan semangat jihad nafsu kebencian kalian membakar apa saja yang kalian anggap mungkar
アッラーフ・アクバル、アッラーは偉大なり！ もし仮に地球に住むこの埃ほどの大きさの 50億人の人間たちが 皆道を踏み外しても あるいは皆敬虔であっても 少しも神の偉大さに影響することなどない	Allahu Akbar, Allah Maha Besar! Seandainya 5 milyar manusia penghuni bumi sebesar debu ini sesat semua atau saleh semua, tak sedikit pun akan mempengaruhi KebesaranNya
お前たちの残忍さを見て僕は確信する お前たちは慈愛深きお方に出会ったことがないと その慈しみがあらゆるものを覆いつくすお方に	Melihat keganasan kalian aku yakin kalian belum pernah bertemu Ar-Rahman Yang kasih sayangNya meliputi segalanya
どうしてお前はそれ程大胆に 神の名の下に振る舞うのか？ お前が神へと至る道を探している者たちを 傲慢に打ちのめす時	Bagaimana kau begitu berani mengatas-namakanNya ketika dengan pongah kau melibas mereka yang sedang mencari jalan menujuNya?

なぜもしも彼らが
地獄へ墮ちるのが相応しいのなら
お前たちはなぜ放っておかないのか
彼らの神が彼らを苦しめるのを。
いつお前たちは手に入れたのか？
神からの委任と権限を
苦しめ呪うための

アッラーフ・アクバル！
偶像崇拜（シルク）は最も大きな罪だ。
そして最も大きな偶像崇拜とは
自分自身を神格化し
自分の正しさを絶対のものとして
神と同列に並べることだ。
自分自身を。
ラー・イラーハ・イッラッラー
（アッラー以外に神はない）！
2005年

Mengapa kalau mereka
memang pantas masuk neraka
tidak kalian biarkan saja Tuhan mereka
yang menyiksa mereka.
Kapan kalian mendapat mandat
dan wewenang dariNya untuk
menyiksa dan melaknat?

Allahu Akbar!
Syirik adalah dosa paling besar.
Dan syirik yang paling akbar
adalah mensekutukanNya
dengan mempertuhankan diri sendiri
Dengan memutlakkan kebenaran
sendiri.
Laa ilaaha illallah!
2005.

9. Aku Masih Sangat Hafal Nyanyian itu （僕はその歌をまだよく覚えている）¹²

僕はその歌をまだよく覚えている
僕たちが大好きな歌と一緒に覚えていた歌だ
僕たちが国民学校にいた時から
僕たちは先を争って
歌ったものだ
子どもたちがクラスの前で
一人ずつそれを歌うように言われた時に

Aku masih sangat hafal nyanyian itu
Nyanyian kesayangan dan hafalan kita bersama,
Sejak kita disekolah rakyat
Kita berebut lebih dulu
menyanyikannya
Ketika anak – anak disuruh
menyanyi di depan kelas satu-persatu

僕はまだ覚えている
僕たちがいかに喜んだかを
僕たちの先生が誘った時のことを
その歌と一緒に歌うように

もうとても長い間
付き合いは以前のように親密ではない
それぞれが自分の利害に引きずられ
あるいは現世の魅力に魔術をかけられて
そして君は今いったいどこにいるんだ
でも僕はその歌をまだよく覚えているよ
愛する友よ
今日僕は是非もう一度それを歌いたい

君と一緒に

インドネシア 我が祖国
大いなる永遠の先祖の宝
インドネシア 昔から
ずっと民族に崇められてきた
そこは私が生まれたところ
母（の腕）に揺られ育てられたところ
老いた日に身を寄せるところ
最後に目を閉じるまで

僕は感動を懐しみ哀れになる
憎しみと恨みが燃え上がり
非情さが蔓延るただ中で
今に至るまで歌詞を替える者が絶えない

Aku masih ingat betapa kita gembira
Saat guru kita mengajak
menyanyikan lagu itu
bersama – sama

Sudah lama sekali
Pergaulan sudah tidak seakrab dulu,
Masing – masing sudah terseret
kepentingan sendiri
Atau tersihir pesona dunia
Dan kau kini entah dimana
Tapi aku masih sangat hafal nyanyian
itu sayang
Hari ini ingin sekali aku
menyanyikannya kembali
Bersamamu

Indonesia tanah air beta
pusaka abadi nan jaya
Indonesia sejak dulu kala
tetap di puja – puja bangsa
disana tempat lahir beta
dibuai dibesarkan bunda
tempat berlindung dihari tua
sampai akhir menutup mata

Aku merindukan rasa haru dan iba
Di tengah kobaran kebencian dan dendam
serta maraknya rasa tega
Hingga kini ada saja yang ngeubah lirik lagu

あの僕たちの愛する歌を
そしてそれを悲しい調子で歌う

インドネシア 僕たちの涙
幸福が悲哀になった
インドネシアは今突然
いつも民族に侮辱されることに
そこでは多くの人々が
現世の利害にうつつを抜かし忘れている
権力を争って戦う場所
一体いつになったら終わるのか。

愛する者よ 君は今どこにいるんだ
僕たちがまた共に歌うことは可能だろうか？

あの僕たちの愛する歌を
昔のように親密に

kesayangan kita itu
dan menyanyikannya dengan nada sendu

Indonesia air mata kita
Bahagia menjadi nestapa
Indonesia kini tiba – tiba
Selalu di hina – hina bangsa
Di sana banyak orang lupa
Dibuai kepentingan dunia
Tempat bertarung berebut kuasa
Sampai entah kapan akhirnya.

Sayang, di manakah kini kau
Mungkinkah kita menyanyi bersama lagi

Lagu kesayangan kita itu
Dengan akrab seperti dulu?

10. Selamat Datang di Negeri Bokong (尻の国へようこそ)

尻の国へようこそ！
百万の尻のクッパ（モスクのドーム型の屋根）の国
尻の文明を發展させ
安定した尻を揺らせる国

世界最大の便器輸入国
一度も足りたことのない国
すでにある椅子では
なぜなら尻の国では
尻は最優先のものだから

selamat datang di negeri bokong!
negeri sejuta kubah bokong
negeri pengembang peradaban bongkong
penggoyang keamanan bokong
negeri pengimport kloset terbesar di dunia
negeri yang tak pernah cukup
dengan kursi-kursi yang ada
karena di negeri bokong
bokong adalah prioritas utama

だから尻の国では
人は喧嘩する
尻や尻の場所を奪い合って

尻の国へようこそ！
百万の尻のクッパの国
尻の
文明を発展させ
安定した尻を揺らせる国

尻の人生哲学をもった国
尻を前に出さなければならず
顔は後ろに向けなければならないところ
それ故に尻の国では
身分証明書やパスポートは
やはり証明写真がないといけないけれど
頭と顔ではない
見えなければいけないのは
尻の国での証明写真は
尻を見せなければいけない

尻の国では
尻は尊敬されなければならない
国のシンボルだから

尻の国では
すべてが無視されて構わない
尻さえ高く掲げられさえするならば

maka di negeri bokong
orang berkelahi berebut bokong
atau tempat-tempat bokong

selamat datang di negeri bokong!
negeri sejuta kubah bokong
negeri pengembang peradaban
bongkong
penggoyang kemapanan bokong

negeri dengan falsafah hidup bokong
dimana bokong mesti dikedepankan
dan muka dibelakangkan
karena itu di negeri bokong
meski ktp dan pasport juga harus ada
pasfotonya
tapi bukan kepala dan muka yang
harus tampak
pasfoto di negeri bokong haruslah
menampakkan bokong

di negeri bokong
bokong adalah lambang negeri
yang harus dihormati

di negeri bokong
semuanya boleh diabaikan
asal bokong dijunjung tinggi

尻の国では	di negeri bokong
尺度となるのはIQ (知能指数) ではない EQ (感情指数) でもない	bukan iq bukan eq juga bukan
SQ (社会的指数) でもなくて	sq yang menjadi ukuran
AQ、ASS Quotient (尻の穴指数) だ	tapi aq, ass quotient
尻の国へようこそ	selamat datang di negeri bokong
尻の文化を持つ国	negeri berbudaya bokong
尻たちに指導された国へ	yang dipimpin oleh bokong-bokong
尻が崇拜される国	negeri dimana bokong dipuja
モスクで、ヒンドゥー寺院で、そしてキリスト教会で	di mesjid di pura dan di gereja
神聖な場所で (尻の名が) 繰り返し唱えられる	diwiridkan di tempat-tempat keramat
そして国会議事堂で	dan gedung mewah perwakilan rakyat
君たちは言う 尻は	kalian bilang bokong
後ろにあるものだと	tempatnya di belakang
なぜなら君たちは	karena kalian
まだ知らないから	belum tahu nikmatnya bokong
尻が揺れるときの快感を	bergoyang
この尻の民族に従ってみなさい	cobalah ikuti bangsa bokong ini
そしてその指導者らに	dan para pemimpinnya
(尻を) 唱名し (尻を) 揺らし	berdzikir dan bergoyang
そして感じるのです!	dan rasakan!
尻 尻 尻 尻 尻……	bokong bokong bokong bokong bokong …

11. Kau ini Bagaimana atawa Akuharus Bagaimana? (君ってどうなってるんだ あるいは僕はどうすればいいんだい?)

君は僕に独立しろという、君は 僕のために何でも選んでしまう 君は僕に考えろという、僕は考える 君は僕が異教徒だと非難する 僕はどうすればいいんだい? 君は動けという、僕が動く 君は疑う 君はやたらに行動すると言う、 僕が黙っているだけで君は警戒する	kau bilang aku merdeka, kau memilihkan untukku segalanya kau suruh aku berpikir, aku berpikir kau tuduh aku kafir aku harus bagaimana? kau bilang bergeraklah, aku bergerak kau curigai kau bilang jangan banyak tingkah, aku diam saja kau waspadai
君ってどうなってるんだ? 君は僕に原則を守れという、僕が原則を守ると 君は僕がごちないと非難する 君は僕に寛容になれという、僕が寛容になると君は 僕がちゃらんぼらんだという 僕はどうすればいいんだい? 僕に君は進めという、僕が進もうとすると君は 僕の足をすくって転ばせる 君は僕に働けという、僕が働く 君は僕を邪魔する	kau ini bagaimana? kau suruh aku memegang prinsip, aku memegang prinsip kau tuduh aku kaku kau suruh aku toleran, aku toleran kau bilang aq plin plan aku harus bagaimana? aku kau suruh maju, aku mau maju kau selibung kakiku kau suruh aku bekerja, aku bekerja kau ganggu aku
君ってどうなってるんだ? 君は僕に敬虔であれという、 君の宗教の説教は僕を精神病にする 君は僕について来いと言う、君の歩みは 方角がはっきりしない	kau ini bagaimana? kau suruh aku takwa, khotbah keagamaanmu membuatku sakit jiwa kau suruh aku mengikutimu, langkahmu tak jelas arahnya

僕はどうすればいいんだい？	aku harus bagaimana?
僕に君は法律を尊重しろという、	aku kau suruh menghormati hukum,
君の政策はそれを軽んじる	kebijaksanaanmu menyepelkannya
僕に君は規律を守るように言う、	aku kau suruh berdisiplin,
君は別の模範を示す	kau mencontohkan yang lain
君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?
君は神はとても近くにいると言う、	kau bilang Tuhan sangat dekat, kau sendiri
君自身はスピーカーを使って繰り返し呼ぶ	memanggil-manggilnya dengan pengeras suara
君が平和が好きだという度に、	tiap saat kau bilang kau suka damai,
君は僕に毎日争うよう誘う	kau ajak aku setiap hari bertikai
僕はどうすればいいんだい？	aku harus bagaimana?
僕に君は建設しろという、	aku kau suruh membangun, aku
僕が建設すると君はそれを壊す	membangun kau merusakkannya
僕に君は貯金をしろという、僕が貯金すると	aku kau suruh menabung, aku menabung
君は使い果たしてしまう	kau menghabiskannya
君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?
君は僕に田んぼを耕せという、	aku suruh aku menggarap sawah,
君は僕の田んぼに家を植え付ける	sawahku kau tanami rumah-rumah
君は僕に家を持たないといけないという、	aku bilang aku harus punya rumah, aku
僕が家を持つと君は	punya rumah kau meratakannya
更地にしてしまう	dengan tanah
僕はどうすればいいんだい？	aku harus bagaimana?
僕に君は賭け事することを禁じる、君の投機	aku kau larang berjudi, permainan
ゲームはますます盛んになる	spekulasimu menjadi-jadi
僕に君は責任を取れという、君自身は	aku kau suruh bertanggungjawab, kau
ワッラーフ・アラム (アッラーのみがよくご存じ	sendiri terus berucap wallahu a'lam
だ) ¹³ と言いつける	bissawab

君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?
君は僕に正直になれという、僕が正直になると君は欺く	kau suruh aku jujur, aku jujur kau tipu
僕に君は我慢しろという、僕が我慢していると	aku kau suruh aku sabar, aku sabar
君は僕のうなじを踏みつける	kau injak tengkukku
僕はどうすればいいんだい？	aku harus bagaimana?
僕に君は僕の代表として君を選べという、	aku kau suruh memilihmu sebagai
もう僕が選んだら	wakilku, sudah kupilih kau bertindak
君は君の好き勝手に行動する	sendiri semaumu
君は君がいつも僕のことを考えているという、	kau bilang kau selalu memikirkanku,
僕が話しかけるだけで君は邪魔されたと感じる	aku sapa saja kau merasa terganggu

君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?
君は話せという、僕が話すと	kau bilang bicaralah, aku bicara kau
君は僕がおしゃべりだという	bilang aku ceriwis
君は多くを話すなと言う、僕が黙っていると	kau bilang jangan banyak bicara, aku
君は僕が無気力だと非難する	bungkam kau tuduh aku apatis

僕はどうすればいいんだい？	aku harus bagaimana?
君は批判しろという、僕が批判すると君は怒る	kau bilang kritiklah, aku kritik kau marah
君は他の選択肢を探せという、	kau bilang carikan alternatifnya, aku
僕が他の選択肢を示すと、	kasih alternatif kau bilang jangan
君は指図するなという	mendikte saja

君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?
僕は君次第だという、君は僕が僕たち次第だと	aku bilang terserah kau, kau tidak mau
いうことを望まない	aku bilang terserah kita,
君は僕が僕次第だと言うのが好きじゃない	kau tak suka aku bilang terserah aku,
君は僕をののしる	kau memakiku
君ってどうなってるんだ？	kau ini bagaimana?

あるいは僕はどうすればいいんだい？

atau aku harus bagaimana?

1987年

1987

II. A. ムストファ・ビスリ師（グス・ムス）の経歴と人物像

冒頭でも述べたように、グス・ムスは、インドネシアの伝統派イスラム組織 NUの有力な指導者の一人であり、イスラム学の研鑽を積んだ経歴から数多くのイスラム教義に関する宗教書を執筆している。だがそれだけにとどまらず、詩や短編小説も書き、絵画も描くという多才な人物で、出版された詩集は8冊に及び、国内の詩の朗読会だけでなく、国外の詩の朗読会にも何度か招待されたことがある。そして絵画の分野でもしばしば個展を開催しているほど才能に溢れた人物である。また彼の機知とユーモアに溢れたイスラムの説教は、人々の心を魅了し、会場がたちまちほのぼのとした愉快的な笑いに包まれるのが常だ。グス・ムスの愛称で多くの国民から慕われ尊敬されているこの魅力溢れる A. ムストファ・ビスリ師が、どのような経歴のもち主で、宗教についてどのような考え方をもっているのか、ここに詩人の他にいくつもの顔をもつ師の人物像を紹介しておきたい¹⁴。

グス・ムスは、1944年8月10日、インドネシア共和国、ジャワ島北岸のレンバン市に、著名なキヤイ（キヤイはイスラム寄宿学校を運営・指導するイスラム学者に対する敬称）の息子として生まれた。ちなみに、グス・ムスの祖父の名前は「ムストファ」、父親の名前は「ビスリ・ムストファ」、そしてグス・ムス自身の名前が「ムストファ・ビスリ」で、息子の名前は「ビスリ・ムストファ」、さらにレンバン市の自宅の住所も「ムストファ・ビスリ通り」で、家族の名前、住所からしてなかなかユニークな家系だ。

グス・ムスは、当時の小学校である国民学校（Sekolah Rakyat）を卒業した後、14歳の頃、東部ジャワ州クディリにある有名なイスラム寄宿学校ポンドック・プサントレン・リルボヨ（Pondok Pesantren Lirboyo）で学び始めたが、一年半（1956-1958）で自宅に連れ戻されたという。その理由は、グス・ムスが超人的な身体能力（ilmu kekebalan tubuh, ilmu kejadukan）を身につけることに夢中になってしまったからというもので、その超人的な身体能

力とは具体的には、髪の毛（当時グス・ムスは髪を肩まで伸ばしていた）をハサミで他人が切ろうとしても切ることができない、他人がナイフで身体を切りつけようとしても全く切りつけることができない、突然目の前から姿を消す、といった能力であった。

自宅に連れ戻されたグス・ムスは、2年間（1962-64）、父親が運営するイスラム寄宿学校ポンドック・プサントレン・ラウダトゥ・トリビン（Pondok Pesantren Raudlatuh Tholibin）でイスラム諸学を学んだ後、ジョクジャカルタにある有名なイスラム寄宿学校ポンドック・アルムナウィル・クラピヤック（Pondok Al-Munawwir Krapiyak）に入って学んだ（1964-1970）が、クディリのイスラム寄宿学校の時と同様、小学校レベルの宗教学校（Madrasah Ibtidayah）に再び入れられ飽きてしまったということもあり、卒業する前にやめている¹⁵。このイスラム学校でグス・ムスは、自分の教室の授業内容だけでなく、隣の教室の授業内容まで一度聞いたら暗記してしまうということで学校中の噂になる程に天才的な能力をみせたが、ある日何故か突然勉強ができなくなってしまったという。グス・ムスは、この出来事を、自分が自分の能力に自惚れ天狗になって勉強を軽んじたことに対する神の懲罰だったと語っている。その後、高校の卒業証明書がないにもかかわらず、エジプトのカイロにあるイスラム学の最高学府アル・アズハル大学に留学する機会を得て（1964-1970）¹⁶、エジプトでは後にインドネシアの大統領となるグス・ドゥル（故ワヒド元大統領）と出会い、親交を深めた。

グス・ムスは、イスラム学者、文化人として活躍しているだけでなく、政治の分野でも国民協議会議員や地方議会議員を務めた経歴をもつ。そして第4代インドネシア大統領となるグス・ドゥルとともに、NUの基盤政党となる民族覚醒党（PKB）の設立にも参加した。同党のロゴマークはグス・ムスの考案によるものである。そして2004年のポヨラリにおけるNUの全国大会では、グス・ドゥルから組織の会長になるよう求められ、組織内の支持も大きかったが、グス・ムスは引き受けなかった。その理由は、母親に意見を尋ねたら「やめておけ」といわれたからだだったとTVインタビューで答え、会場から温かい笑いを誘った。母親の存命中は、迷ったときにどうすべきか神から導きを得るため

に行うイスティハラ（Istikharah）と呼ばれる祈りをするなどもなく、何でも母親に意見を求め、母親の意見に従っていたという。「もっとも尊敬すべき人物は母親である」という預言者ムハンマドの言行録（ハディース）に基づくイスラム教義をそのまま実践していたとも言える。

伝統派イスラム組織NUにおいてカリスマ的存在であるグス・ムスの思想は、親友であった故グス・ドゥルと同様に寛容である。そのことを雄弁に物語る二つの事柄をここに紹介しておきたい。一つは、グス・ムスの娘婿でリベラル派イスラム知識人として著名なウリル・アブサル・アブダッラが、2002年インドネシアのキリスト教系の全国的な日刊紙『コンパス紙』に、原理主義的イスラム思想を批判する論説¹⁷を掲載して、保守派イスラム勢力から激しい批判を買った時のグス・ムスの反応である。

インドネシアでは、1998年のスハルト政権崩壊以降の民主化のプロセスの中、リベラル派イスラム思想や、アフマディヤー教団信者など異端とされる信者に対して排他的な集団による襲撃事件などが目立つようになっていた。そうした状況の中、ウリルがマス・メディアで騒動を起こしたことについて、グス・ムスは、わざと反感を買うようなウリルのやり方こそは問題視したが、ウリルのリベラルな思想自体は批判しなかった¹⁸。「考える（berpikir）」ことは宗教で勧められていることで、「ジクル（唱名）」することと同じである、ジクルすることを異教徒扱いするのは奇妙だ、というのがグス・ムスの見解だ。グス・ムスは、自身の子どもたちが何を学ぶかについても自由を与え、ただ一つ「学ぶことをやめないように」というメッセージを伝えているという。こうした姿勢にはグス・ムスの寛容な考え方と度量の広さがよく表れている。

グス・ムスの寛容さを示すもう一つの事柄は、2002年から2003年にかけて、インドネシアのダンドゥット歌手イヌル・ダラティスタ（Inul Daratista）が腰をドリルのように回す振り付けで話題となり、人気を博したことに對して、イスラム学者らが厳しい批難を浴びせ、マス・メディアがこの問題を大々的に取り上げていた時のグス・ムスの反応である。

他のイスラム学者らがこぞってイヌルを批難する中、グス・ムスは一人、下に紹介するような絵画（ムストファ・ピスリ師の作品2）を描いた。それは「イ



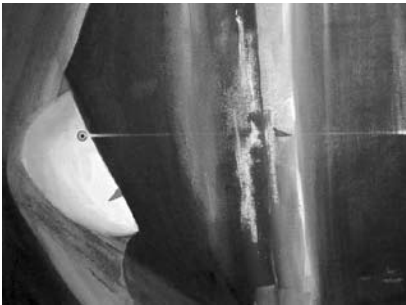
ムストファ・ビスリ師の作品 2.
タイトル：Berzikir bersama Inul（イヌルとともに唱名する）
写真提供者：ムストファ・ビスリ師。

ヌルとともに唱名する（Berzikir bersama Inul）」というタイトルの絵で、イスラム学者らがイヌルを中心に円座を組んでいる構図で、それらのイスラム学者のうち、矢印で「僕（aku）」と示された人物だけがイヌルから目を背けている。この絵は、イスラム学者らが声高にイヌルを批難しながらも、同時にそのイヌルの姿を楽しんで眺めているという人間の本性を描き出していると同時に、そうした偽善的な姿勢を改め、イヌルとともに、表面的にだけでなく、精神的な面でも「唱名しよう」、つまり神に思いを馳せよう、というメッセージを送っていると捉えることができるのではないだろうか。この絵については、展覧会の会場で、若いイスラム学者らが何でこんな絵を描くのか、不謹慎ではないかと騒いでいたところに、年長で皆に尊敬されているキヤイがやってきて、「この絵はいくらだ？僕はこの絵が欲しい。」と言ったため、若いイスラム学者らは何も言えなくなったというエピソードがある。

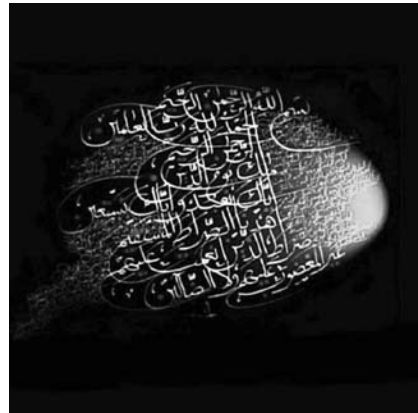
グス・ムスは、2011年、著名人にインタビューするKickAndyというTV番組に出演した際、「私たちの国はすべて「肉（daging）」だ。人々が「肉（daging）」を崇拜しすぎていて、「精神（jiwa）」を忘れてしまっている」と語っている。そしてインドネシアの現在の宗教教育もまた「肉」だけだと批判している。つまり、知識偏重で、暗記させることだけに力を注ぎ、精神的な意味での宗教教育が十分にできていないという批判である。そして、宗教に対す

る理解、神についての考え方は人それぞれで、レベルも幼稚園から大学院まであるとして、厳しい罰を与える恐ろしい神をイメージするのはまだレベルが低く、慈悲の神をイメージするのはハイレベルなのだ、だから学ぶことをやめてはいけない、という持論をインタビューの中で語っている。

若い頃、サッカーが得意だったグス・ムスは、今年で70歳だが、今もヨガを欠かさず、年齢とは不釣り合いに「三点倒立」を得意とする。料理の腕前もなかなかのもので、家族のために料理を作ったりもする。現在、グス・ムスは自身が運営するイスラム寄宿学校で教える傍ら、日々フェイスブックやツイッターを通じてさまざまな階層の人々とつながりながら、ツイッターに次々と寄せられる宗教に関する質問に、機知とユーモアを交えながら丁寧な答え、人々を啓蒙し続けている。



ムストファ・ビスリ師の作品3（無題）
写真提供者：ムストファ・ビスリ師。



ムストファ・ビスリ師の作品4.
タイトル：アルファーティハ
（クルアーン第一章（開扉章）の章句のカリグラフィ）
写真提供者：Timur Sinar Suprabana氏。

注

- 1 インドネシア語の詩を取り上げ日本語に翻訳、出版された主な書籍としては、『恋人は遠い島に—現代インドネシア詩集』（舟知恵訳、弥生書房、1977年）、『アミル・ハムザの全作品と生涯』（舟知恵訳、弥生書房、1985年）、『サバルディ・ジョコ・ダモノ詩集（世界現代詩文庫）』（印堂哲郎訳、土曜美術社、1986年）、『レンドラ：その前衛の詩宇宙』Volume 2 of アジアの現代文芸、W. S. Rendra, (印堂哲郎訳、

大同生命国際文化基金, 1990年) などがある。

浦野崇史氏の「インドネシア文学邦訳作品リスト—詩編—」(『摂南大学 外国語学部 摂大人文学』第17号, 2009年, pp.151-224) には、これまで日本語に翻訳され紹介されたインドネシアの詩のタイトルが、作品別リスト(原作の初出年次別に翻訳作品を配列したもの)、そして作者別リスト(作者別に翻訳作品を配列したもの)の両方でリストアップされている。この資料には、47名のインドネシアの詩人の作品、549作品がこれまでに日本語に翻訳、紹介されたものとして数えられているが、内訳をみてみると、サパルディ・ジョコ・ダモノ(1940-)の作品が148点、ハイリル・アンワル(1922-49)の作品が75点、アミル・(1911-46)の作品が71点、レンドラ(1935-2009)の作品が27点で、これら4人の詩人の作品だけで、その総数は321点となり、全体の約6割近くを占めている。

2 「グス」は、プサントレンと呼ばれるイスラム寄宿学校を運営・指導する「キヤイ」と称されるイスラム学者の息子に対する敬称である。後で述べるように、ムストファ・ビスリ師は、著名なキヤイ、ビスリ・ムストファ師の息子で、名前がムストファであるため、「グス・ムス」と呼ばれている。

3 Sawitri, Ken, ed., *Album Sajak Sajak A. Mustofa Bisri*, MataAir, 2008.

4 この詩の他、本稿でで紹介するいくつかの詩は、2000年に出版された *Gandrung* (Yayasan 'Al-Ibriz' Rembang出版) に掲載されていた作品である。

5 ファナー(消滅・消融)は、「エクスタシーに満ちた忘我の境地」を意味するスーフイズム(イスラム神秘主義)の術語である。「伊斯蘭文化のホームページ」「神秘階梯 スーフイズムの修行法と神秘の光への道」の項には以下のように解説されている。「…この状態は、自他の区別がない、まったくの恍惚状態、エクスタシーに満ちた忘我の境地であるという。このような自己も他者も消滅し、融解している神秘的合一状態をスーフイズムではファナー(消滅・消融)と呼んでいる。」
http://www2.dokidoki.ne.jp/racket/sufi_kaitei.html

『岩波 イスラーム辞典』の「ファナー」の項にも、以下のような解説があるが、上述の「伊斯蘭文化のホームページ」による解説の方が、端的でわかりやすいと思われる。「神秘的合一体験を表すスーフイズム(イスラム神秘主義)の術語で、その状態は3段階あるとされる。第1は魂の道徳的変容であり、自らのいやしい性質が消滅し、賞賛に値する神与の属性に置きかわることである。第2は神に思念を集中し、それ以外の者への慮りを消去する段階で、この段階で修行者は、アッラーの光に包まれるというヴィジョンを得る。第3は“消滅の消滅”と呼ばれる究極段階で、自らがファナーに到達したという意識すら消滅する段階である。…」『岩波 イスラーム辞典』山内昌之・東長靖・大塚和夫編集, 岩波書店, 2001年, pp.829-830.

6 NBは通常Notabene(注記)の略語である。詩のタイトルの下に“Untuk:”

と書かれる場合は、「～のために」書かれた詩を意味し、NBはこの詩を捧げる人物のイニシャルとして使われているととるのが一般的である。作者（ムストファ・ビスリ師）に確認したところ、ここでは注記、人物のイニシャル、両方の意味で使用されているとの回答であった。

- 7 「ハニーン (Hanien)」という言葉は、インドネシア語で一般的に使用されている語彙ではなく、辞書にも載っていない単語である。作者（ムストファ・ビスリ師）に確認してみたところ、これはアラビア語で「恋しさに似たある種の感情」を意味するとの回答であった。
- 8 作者が住んでいるジャワ島北岸の都市の名前。
- 9 「アーミン (Amin)」は、キリスト教の祈りの最後に使われる「アーメン」と同意で、イスラム教徒が祈りを捧げる際に、祈りの言葉の最後に、「その通りです」「叶えてください」といった意味で使われる言葉である。
- 10 ここで「我」とは神を意味する。
- 11 この詩は、1998年にスハルト政権が崩壊し、制度的な民主化が急速に進み、より自由な政治空間の中で、「アッラーフ・アクバル」と叫び声を挙げながら、アフマディヤー信者などイスラムの主流から異端視されている人々を襲撃する事件が絶えないインドネシアの状況を深く憂慮して作られた詩である。

以下のサイトには、ムストファ・ビスリ師が実際にこの詩を朗読しているところが収録されている。

<http://www.facebook.com/video/video.php?v=1164630402943&comments&ref=nf>

- 12 この替え歌を含む詩は、ムストファ・ビスリ師が2011年10月7日Metro TVのKick Andyという番組に出演した際に朗読され、以下のサイトにアップロードされている。

Gus Mus in Kick Andy Aku Masih Sangat Hafal Nyanyian itu

<http://www.youtube.com/watch?v=BlUNW46ziMA>

- 13 「自分にはよくわからない」という意味で使われるアラビア語の表現。
- 14 ここに紹介するムストファ・ビスリ師の経歴、および氏にまつわるエピソードは、AL-KISAH NO.1/THN 1/1 JULI 2003 (pp.6-18)、およびムストファ・ビスリ師が2011年10月7日Metro TVのKickAndyという番組に出演した際に自身が語った内容に依拠している。同番組の大部分は、Youtube上にアップロードされている。

KickAndy - Membuka Pintu Langit (Gus Mus) Part I

<https://www.youtube.com/watch?v=p9tFOZFY3MQ>

- 15 TVインタビューでムストファ・ビスリ師自身が語った内容に基づく。
- 16 学歴に関わる年号については、以下の資料を参照。Bisri, M.Mustofa(2011), *Membuka Pintu Langit-Momentum mengevaluasi perilaku*, Kompas, p.214.

17 2002年9月18日に『コンパス紙』に掲載され、物議をかもしたUlil Abshar Abdallaの論説のタイトルは「イスラム理解を再活性化する (*Menyegarkan Kembali Pemahaman Islam*)」で、この論説については、青山亨氏による以下の論考があり、論説の全文が日本語に訳されている。

「インドネシアにおけるリベラル派イスラームの新思潮—ウリル・アブシャル・アブダラのコンパス紙論説をめぐって—」(東京外大東南アジア学第9巻 2004年, pp.24-41) http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/files/liberal_islam.pdf

18 ウリルに対する批判は、以下のムストファ・ピスリ師の著書にも掲載されている。

Bisri, A. Mustofa (2011), op.cit., pp.43-46.